

# 「いのち」の教育実践事例

## ☆南陽市の実践

(赤湯小学校、赤湯中学校)

系統性

継続性

### 一幼保小中一貫した教育により、系統性・継続性のある取組みを推進一

市民総ぐるみの教育の実践（地域総合型教育）を核としながら、中学校区における幼保小中一貫教育の推進と子どもたちによる社会参画活動を進め、一人一人の生きぬく力を育てている事例です。

#### ○ 小中教員による「相互乗り入れ授業」

・小学校教員の児童理解、中学校教員の教科専門性という強みを活かした「相互乗り入れ授業」を実施し、系統的な教育課程実施や、児童生徒の自尊感情・学習意欲の向上、教員相互の資質向上及び関係強化を図っている。

#### ○ 中学生が小学生を支え・見守る活動

・赤湯地区のネットワーク事業と連動し、中学生が、小学生の登校時の安全を見守る「交通安全ありがとう運動」を行っている。また、夏休みには、中学3年生が小学生に勉強を教える「夏休みサポート学習会」も実施し、小学生が中学生に憧れる、中学生が小学生を支える取組みを進めている。

#### ○ 小・中学生の地域の祭りへの参画

・「赤湯温泉ふるさと祭り」で、小学生による鼓笛隊や伝統の「暴れ獅子太鼓」演奏、中学生が「神輿渡御」（みこしとぎょ）への参加を行い、また冬の「雪灯かりまつり」では、中学生がボランティアとして参画し地域を盛り上げている。

#### ○ 小学校を会場とした、中学生の活動

・中学生が、小学校を会場として「応援クラスマッチ」を開催している。中学生が全力で応援する姿を、小学生はもとより保護者や地域の方も参観することで、中学生から活力をもらい、中学生は自分たちの取組みへの賞賛の声をもらうことで、大きな達成感・効力感を得ている。

#### ○ 小中教員によるT・T「道徳」授業

・中学1年生に対して、小学校と中学校の教員がティーム・ティーチングの形で「道徳」授業を行い、小中で一貫した児童生徒理解のもと、「生き方あり方」を学ぶ授業を研究している。

中学校の授業って  
おもしろい！  
もっと頑張ろう！



小・中学校教員による相互乗り入れ授業



中学生による、小学生の登校見守り活動

中学校のお兄さん・お姉さん、私たちの安全を見守ってくれてありがとう！  
あんな先輩になりたいな！

中学生でも、地域の一員！  
地域が盛り上がってうれしいな！



地域の「ふるさと祭り」への参加



小学校を会場とした、「中学校応援クラスマッチ」

中学生の応援は、迫力があってすごい！私たちも見習いたいな。

中学生になっても、小学校の先生方は見守ってくれているんだ。



小学校と中学校教員のティーム・ティーチングによる「道徳」の授業